

# しどろいん

発行

厚木市青少年指導員  
連絡協議会

編集 広報部会

厚木市中町1-1-3

TEL 225-2580

## 私の地区自慢

### ■新しい生活様式下での活動について■

依知北地区

私たち依知北地区は、6人で活動しています。それぞれ仕事との両立で大変なときもありますが、お互いにフォローしあっています、自分自身も楽しみを見つけ活動を行っています。

しかしながら新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、毎年開催されている「青少年フエスティバル」や「依知北公民館まつり」等のイベントが中止になり、思うように活動ができていません。今後は感染状況により、今までとは違う新しいカタチの活動が行われることになると思います。

今後、ジュニアリーダーや、地域の方々とともに協力しあって活動していきたいと思えます。



フォローしあうメンバーです

### ■40周年記念事業■

睦合南地区

コロナ禍で多くの行事が中止になる中、40周年を迎えた睦合南公民館の記念事業を行いました。

10月18日に文化会館大ホールで実施した「おかあさんの被爆ピアノ」の映画鑑賞会には、約300人が参加しました。手指消毒、検温、座席間隔の確保などの感染症対策をして映画鑑賞を楽しみました。10月31日には、ハロウィンの仮装コンテストを行いました。参加した18チームは、集合時間を分けて5分おきに公民館の周りを練り歩きました。

### ■来期への希望■

森の里地区

令和2年度は新型コロナウイルスのため、青少年指導員、ジュニアリーダーともに目立った活動はできませんでした。その中で、ジュニアリーダーの新規入会者が中学1年生で12人と、私の知る限りで初めての明るいニュースです。地区会もなかなか賑やかで、意見も活発に出ています。

令和2年度は活動が制限され



■力を合わせてできることを■  
厚木市青少年指導員連絡協議会会長 川田 房江

令和2年度は新型コロナウイルスの活動ができないようにどうしたら活動ができるかを話し合ってきました。

今年度もまだまだ新型コロナウイルスが心配ですが、「協心戮力」(心と力を合わせて互いに協力して物事に取り組み)の精神で皆さんと互いに協力して頑張っていきたいと思えます。

また、青少年関係団体、職員の方々には日頃から大変お世話になっております。今後も皆さんの変わらぬご理解とご協力をよろしく願います。

てしまいましたが、新型コロナウイルスが収まったら、みんなで楽しく活動しようといから楽しみにです。



マスクでファイア!



厚木市マスクキャラクター

あゆむ回

### 《広報部会より》

今回の原稿は昨年末から1月中旬に執筆された内容で、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の影響で編集会議ができず、内容が前後する所はご了承ください。

# 私の地区自慢

## ■自然豊かな荻野地区■

### 荻野地区

令和2年度の荻野地区青少年指導員は総勢10人（新人なし）でスタートしました。しかし、活動らしい活動が一切できずに1年間が終わってしまいました。そこで、自粛生活の散歩活動で見出した荻野地区の魅力をお伝えしたいと思います。

荻野地区は河川や山に囲まれた自然豊かな環境にあり、荻野川沿いのリバーウォークや荻野運動公園でのピクニック、鳶尾山ハイキングなど、家族連れで楽しめる場所がたくさんあります。特に鳶尾山ハイキングは頂上に登ると展望台があり、中津川から相模平野が一望できる景観が広がっています。天気が良ければ横浜ランドマークタワーまで見渡すことができます。頂上まではゆっくり登っても1時



マスクを着けて全員集合

間もあれば十分ですので、ピクニック気分です訪れてみてはいかがでしょうか。

## ■活動は楽しく■

### 相川地区

相川地区は7人の青少年指導員で活動しています。私たちは青少年健全育成会と連携を取りながら、愛のパトロール、通学路清掃活動、地域子ども教室などの活動をしています。

また、ジュニアリーダーの研修会や活動の推進にも努めています。その他、公民館事業などへの参加も積極的に取り組んでいます。今後も地域と連携した活動に、楽しく取り組んでいきたいと思っています。

## ■世代を超えて■

### 厚木北地区

厚木北地区では、地域福祉推進委員会の活動として、11月20日に「世代間交流展示会」を開催し、地域の方々の写真を厚木の児童が鑑賞しました。本物さながらの鳥のオブジェや手作り絵本などの素敵な作品に子どもたちはじっと目を凝らしていて、作品を通して心のつながりを感じられました。また、ジュ

ニアリーダーたちも「地域に貢献したい」との思いから準備万端。令和2年度、新人2人を加えスタートした厚木北地区、元気に活動して参ります。



元気に活動していきます！

## ■事業もリモート■

### 南毛利地区

南毛利（長谷）青少年健全育成会では毎年、南毛利中学校、東名中学校、玉川中学校の吹奏楽部と、座間キャンプの音楽隊でフレンドシップコンサートを南毛利小学校で行っていました。が、コロナ禍で中止せざるを得ませんでした。

役員会はリモートで行い、多くの子どもたちが密にならないで参加できる事業はないかと考えました。マグカップに好きな絵を描き、写真に撮って投稿してもらい、それをホームページ

に載せて作品展を開きました。自治会、子ども会に募集の回覧をしたらと、78人の参加をいただきました。

ウェブサイトに載せるので、個人を特定できないようにすること、作品をホームページに掲載することが大変でした。

一日も早く多くの人が集まって事業ができる日が来ますようお願い次第です。



手作りペンカップ HP も見てね！

## ■活動の持続性は必要だ■

### 睦合北地区

コロナ対応で行事の中止や縮小など地域活動にも大きな影響を落としました。青少年指導員としての活動が何もできなかったこの1年を取り戻すことはできませんが、活動の持続性は必要だと全員が感じています。

生活の変様が求められる中で、子どもたちへのメッセージの伝え方や活動方法など、青少年指導員活動の見直しの時期かもしれません。過剰反応にならないよう今後も活動を推進したいと思っています。

## ■笑顔が一番■

### 玉川地区

9月19日、青少年健全育成会で事業で宮ヶ瀬力又一体験に行きました。左右のオールをうまく動かさなくて前に進めなかったり、ひっくり返ったりしてしまいました。でも、初めて力又一に乗ってこぐことができたので良かったし、とても楽しかったです。（参加した小学生の感想です）。

10月3日には、子ども科学館の菅原先生による出前講座「ロボット作り」が行なわれました。モーターと乾電池とコードが主な材料です。先生の丁寧な説明を受けながら親子で作製し、自分で操作して動き回るロボットに歓声があがっていました。

令和2年度はコロナ禍で試行錯誤しながらの活動でしたが、子どもたちの笑顔が増えるように、できることをやっています。



うまくこげたよ！

■コロナ禍でできること■

厚木南地区

新型コロナウイルスの影響を受け、行事がほとんど中止となる中、厚木南地区青少年健全育成会事業で、修学旅行も日帰りとなってしまった6年生の力になりたいとの思いで、花火を打ち上げました。最初の3発は、長岡花火大会で打ち上げられる慰霊の花火「白菊」。コロナで苦しむ方々への安寧と医療従事者への感謝、そして卒業生にコロナに負けず新たな船出をきってもらいたいとの思いをこめて打ち上げました。子どもたちからは「忘れられない思い出をありがとう」と、笑顔で喜びの声をもらいました。

今後も続きそうなコロナ禍の中で、できることを企画していきたいと思えます。

■楽しみながらの

イベント開催■

睦合西地区

当地区の青少年指導員は及川地区・林地区の6人からなり、各地区の行事にも参加しています。

「睦合西地区吹奏楽コンサート」は高校生及び当地区中学校吹奏学部が演奏を多くの人に披露します。ジュニアリーダー協力のもと「鮎を知る体験学習会」では夏休みの宿題支援も兼

ねて小学生対象に講師を招き、鮎の生態学習後、つかみ取りと鮎の塩焼きを試食します。「睦合西公民館まつり」はチョコバナナなどのお店を出店するなどの活動をしています。「愛のパトロール」は年2回及川地区・林地区に分かれ自治会や子ども会と連携して子どもたちを見守っています。

今後も楽しみながら学習できるイベントを開催していきます。



鮎と追いかっこ

■緑ヶ丘だより■

緑ヶ丘地区

緑ヶ丘団地が開発され50年が過ぎ、居住者の高齢化が進んでいます。そんな中、新たな若い転居者も徐々に増え、小学生・中学生の元気な声が聞こえます。

私たち青少年指導員は、オールド&ミドルエイジの集団です

が、これまでの経験を生かし、地域の多彩な行事を通じて3世代の交流を促進する活動をしています。さらに子どもたちの交流・助け合いを育むべく、小学校・中学校との連携を図りながら活動を続けています。

コロナ禍で事業の実施・継続が不確実な状況ですが、今こそ前を見て私たちが一丸となり、青少年の健全育成に寄与していきたいと思っています。

■子どもたちに再び笑顔を■

小鮎地区

昨年は新型コロナウイルスの影響により色々なイベント行事が中止になりました。

例年、小鮎地区では公民館まつりをはじめとし、小鮎川リバーフェスタと称した川の中をウォーキングしたり、鮎のつかみ取り、巨大そうめん流しなど、大人も子どもも楽しめるイ



トマトも流れていくよ～

イベントを開催しています。

また、2年に一度行われるオーバーナイトウォーク。夜に出発し翌朝にかけ、平塚の海岸まで歩くという思い出作りの一環です。海から昇る日の出の瞬間は、大人も子どもも感動する場面です。  
なにかひとつでもイベントが開催され、子どもたちとともに楽しみたいです。

■地区会を見直しました■

南毛利南地区

青少年指導員の活動や関連団体の事業も中止が相次ぎ、地区会で話し合うような事案も多くはありませんでした。

そこで、青少年指導員として出席している地区内の委員会（地域づくり推進委員会など6つあり、分担して出席しています）の様子を報告しあうことにしました。他の人の意見を参考に自分の意見をまとめて次の会議に出席できるので、会議内容の理解がこれまで以上に深まったように感じています。  
自分たちの地区の現状をきちんと把握できるよう、この取り組みは今後も継続します。

■手作りおもちゃと

手作りゲーム■

依知南地区

青少年指導員主体の活動としては地区内の2つの小学校の児童クラブで行う手作りおもちゃ教室です。少女フェスティバルの万華鏡作りの経験を活かし、地区会で検討し、試作を繰り返しながら作品を絞り込んでいきます。最近では、完成したストロー弓矢を実際に使った的当て大会や、出来上がったステンドグラスを日差し眩しい窓ガラスいっぱい貼り、展示会を行いみんなで出来映えを楽しみました。

地域ゲーム教室ではジュニアリーダーが中心となり、研修会で学んだ様々なゲームを子どもたちと一緒に楽しみ、大いに盛り上がる行事となっています。



マスクを外して はいポーズ！

# 野外指導者講習会に参加して

## ■指導員最初の活動です■

南毛利南地区 田村健二



はじめにジュニアリーダーによるアイスブレイクがあり、大人たちを上手にリードするジュニア

リーダーの姿に頼もしさを感じつつスタート。各施設の使い方、野外炊事場でのカレーライス作りを通じて指導のポイントを学びました。

野外活動は経験がありますが、薪割り、火起こし、炊事などで参加者の安全や、ジュニアリーダーの成長を上手にフォローすることの大切さを改めて感じました。

令和2年度の活動は、この講習会以外まだありませんが、ここから始まりです。

## ■コロナで■

南毛利地区 嘉戸崇仁



七沢自然ふれあいセンターでの野外指導者講習会では、見学・カレーライス作りをジュニアリーダーとともに行いました。

最初は話すことも少なく淡々としていましたが、ジュニア

日時 令和2年9月6日

場所 七沢自然ふれあいセンター

3密を避けるため、参加者は新任指導員限定で行われました

リーダーとのふれあいで、とても有意義な時間を過ごすことができました。

就任1年目は、コロナによりイベント中止が相次ぎ、とても残念ではありましたが、2年目は自分ができているのかを意識し、貢献できればと思っています。



アイスブレイクで心と体をほぐします

## ■最初の一步■

相川地区 相原浩司



野外指導者講習会を受講し、同じ新人の青少年指導員がこんな

なにいるのかと心強い気持ちになりました。昼食のカレー作りでは作り方から後片付けまで、ジュニアリーダーの丁寧な説明を受けながら一緒にを行いました。

講習会を終え、やっと青少年指導員としての第一歩を踏み出せた実感がありました。まだまだコロナ禍で活動は制限されていますが、こんな時だからこそ青少年指導員としての自覚と誇りを大切に行動したいと思えます。

## ■わかりやすい説明■

厚木北地区 小野寺勝



七沢自然ふれあいセンターの見学は、地区の子ども会活動に利用できる施設、企画を考えるよい機会となりました。

カレーライスの作り方、火のつけ方、片付けの仕方などは、子どもたちにわかりやすく説明する視点や、注意するポイントを教わることができました。

地域のイベントにおいても、「子どもたちにわかりやすく説明する視点」を意識しながら青少年指導員としての活動を推進していきたいと思います。



太い薪をナタで割って細い薪を作ります



かまどで火を起こします



皆で協力して作ったカレーが完成！！ おいしくいただきました



鍋洗いは重労働！

■ジュニアリーダーに感謝！

陸北地区 逸見武史



9月6日に野外指導者講習会に参加させていただき、5班に分かれてカレーを作り美味しく頂きました。最後、各班の余ったカレーをジュニアリーダーに勧められ「もう食べられねー」と言いながら食べる仲間の姿が印象的でした。

普段は炊事などした事も無く、またヤマビルに血を吸われる始末で、ジュニアリーダーのお世話になるばかりでしたが楽しい一日でした。

■鍋洗いで汗だく

依知北地区 大塚克彦



当日は雨が降る中、七沢自然ふれあいセンター内の各施設を見学後、炊事場に移動し各班に分かれカレーを作りました。私たちの班が一番おいしいと思っていました。他の班のカレーと食べ比べると「まるやかさ」が足りなくもう一工夫必要だったと感じました。後片付けではカレー鍋を金属たわしで何回もゴシゴシこすってきれいにしたつもりでしたが、OKがでるまで4回かかり、汗だくになりました。

コロナ終息後に各種行事、文化部会活動に参加して青少年指導員のみなさん、ジュニアリーダーとともに活動し、自分自身が成長できればと思っています。

■初めての体験に！

厚木南地区 菊地孝幸



野外指導者講習会ではカレーライスの

野外炊事をしました。鍋で炊飯するのは初めてでした。生きた経験の一つだと感じました。このような経験や体験が、子どもたちの成長の一役を担っていると思います。また、管理棟の見学で驚いた

新任青少年指導員の意気込み

■切り替えて頑張るぞ

小鮎地区 旗手扶



令和2年度の当地区の新人青少年指導員は私を含めて2人です。

青少年指導員としてどのような活動があるのかワクワク・ドキドキだったので、残念ながら令和2年度の活動はコロナのため現時点では野外指導者講習会のみでした。

地元での活動もほとんど中止になり、成人式も会場開催が見送られることとなりました。新成人の皆さんと厚木市文化会館で一緒にお祝いしたかったな。我慢の一年でしたが、気持ちを切り替えて頑張るぞ！

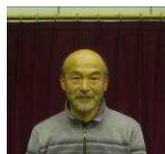
のが、本格的な天体望遠鏡を備えた観測ドームが設置されていることでした。これで観る満天の星空はさぞかし映えて観えることでしょう。

今後、行事の企画運営側の立場になれるか、正直言ってとても緊張しております。参加した行事を一つの思い出してもらえたら、嬉しいと思います。



■地域への恩返し

玉川地区 三橋功



青少年指導員をやりませんかと声をかけていただき、生まれ育った

この地域に少しでも恩返しをしようという気持ちで引き受けることにいたしました。中学校の理科教員をしていましたので、広く浅くではありますが自然全般の知識もあり活動に役立てていけたらと思っています。

コロナの関係で中止になる行事が多いために、通常の活動が十分にできずに残念ですが、開催される活動に積極的に取り組もうと思っています。

表彰者 喜びの声

■シニアリーダーとともに■  
森の里地区 中島道夫



青少年指導員表彰をいただき、ありがとうございます。ございました。表彰された。表彰されるようなたいしたことはやってきていませんが、それなりの年数が経つと、いろいろなことがありました。

青少年指導員になって一番の出来事は、シニアリーダーとの出会いです。地区のシニアリーダーも厚木市のシニアリーダーも皆、素直で本当にかわいいです。シニアリーダー同士の上下関係、大人との関係など、自分たちが楽しむために何が必要かをちゃんと理解しているように思われます。そして研修会などに積極的に参加して感じたことは、シニアリーダーの成長が著しいことです。2年前にまだ幼さを残した子どもたちが、今や立派な「リーダー」となって後輩を指導しています。本当に素晴らしいです。私が青少年指導員となったのは10年以上前で、地域の友人より誘いがありました。当初私は「めんどうくさい、いやだなあ」

と思っていました。

しかし、最初の少年少女フェスティバルで遊び道具と一緒に作ったら、別れ際「ありがとう」と笑顔で言ってくれた顔が印象的で忘れられなくなりました。

それ以来、10年以上青少年指導員を続けています。

■絆・仲間・安心■

小鮎地区 松田愛子



厚木市青少年健全育成大会にて感謝状を頂きました。恐れ多い受賞でした。

青少年指導員に委嘱されてから数年で、まだ経験は浅く学ばなければいけない事が山積みです。

「現場に出て子どもたちの様子をよく観察する」「ペタランの諸先輩の情報に耳を傾ける」このふたつのことを大切にしたい、今後の活動に生かしたいと思えます。

このコロナ禍の中、大人が感じて以上子どもたちは多くのストレスを感じていることでしょう。制限のある中で私たちに何が出来るかを考え、子どもたちのサポートができるよう精進してまいります。

☆令和2年度被表彰者一覧☆  
永きにわたる活動により、表彰を受けた仲間たちです。

■厚木市青少年育成活動 推進者表彰■

(令和2年11月21日)

- ◇厚木北地区 古舘 理絵
- ◇厚木南地区 濱上 隆志
- ◇荻野地区 小泉 克也
- ◇小鮎地区 松田 愛子
- ◇緑ヶ丘地区 伴田 浩軌

■神奈川県青少年指導員表彰■

(令和2年1月 日)

- ◇荻野地区 矢杉 由美子
- ◇森の里地区 中島 道夫

■厚木市表彰■

(令和3年1月30日)

- ◇厚木北地区 岡田 由起子
- ◇小鮎地区 安齊 克己
- ◇森の里地区 南谷 晶
- ◇南毛利地区 小俣 久
- ◇南毛利南地区 久保 勝寿

各地区の理事の皆さん

- ◇厚木北地区 岡田由起子 二瓶要功
- ◇厚木南地区 岩月宣雄 野村成規
- ◇依知北地区 橋本孝義 高橋克徳
- ◇依知南地区 花和由香
- ◇睦合北地区 森木奈津美 森住操
- ◇睦合南地区 福岡典秋
- ◇睦合西地区 落合忠繁
- ◇荻野地区 矢杉由美子 難波秀世
- ◇小鮎地区 安齊克己 川田房江
- ◇玉川地区 伊東貞徳 三橋正巳
- ◇森の里地区 中島道夫
- ◇南毛利地区 鈴木繁子 中島伸一
- ◇相川地区 落合敏男
- ◇緑ヶ丘地区 河西利也
- ◇南毛利南地区 久保勝寿 菅野昭男

おめでとうございまー！



編集後記

令和2年度はコロナウイルスにより、日本だけでなく世界中が大きな影響を受けました。青少年指導員の活動についても各種研修会が中止または参加者が制限されるなど、大きな影響を受けました。それでも感染の予防に留意をしながら少しずつ活動が始まっています。現在においても地域によって感染が再度拡大している状況であるため、今後も研修会などの活動が制限される形で実施される可能性があります。しかしながら、青少年の健全な育成のために、少しずつでもできることから活動を続けていきたいと思えます。

(森の里)



人数を制限して編集会議を行いました